

はじめに

令和2(2020)年3月に、第1期計画の基本的な考え方を継承・発展させた「第2期小美玉市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。「ともに育ち、ともに支え合いながら 喜びと夢に満ちた、心豊かな次代を育てよう」の基本理念にのっとり、未来を担う子どもたち(おみたまっ子)に寄り添いながら、様々な子育て支援に取り組んでまいりました。



特に、令和6(2024)年度からは「おみたまっ子応援パッケージ」の一環として、出産祝金の増額や、第2子保育料の無償化、中学校給食費の無償化、スクールバス無料運行・通学補助支援など各種施策の推進に力を入れているところです。

しかしながら、少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、子育てを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。このような中、子どもが安全・安心に育つ環境づくりと、保護者が心身の余裕を持って子育てできる環境の整備が、より一層重要となっています。

新たに策定した「第3期小美玉市子ども・子育て支援事業計画」では『こどもが輝く未来を家族と地域とともに育む みんなが優しいまちづくり』を基本理念に掲げ、地域の特性を活かした子育て支援や、保育サービスの充実、インクルーシブ遊具の設置、教育環境の整備などに取り組み、地域、学校、行政機関等のさらなる連携強化を図ります。地域全体で子どもたちを見守り育てる社会の実現を目指し、子どもたちの笑顔があふれ、安心して子育てができるまちづくりを進めてまいります。

持続可能な小美玉市にしていくためには、今の子どもたち、そしてこれから生まれてくる子どもたちを、私たちが支援していくことが一層重要となっています。子どもたちは、私たちの「宝」であり「未来」です。「おみたまっ子」の未来を創るため、子育て支援を一段と強化してまいります。

本計画の円滑な推進にあたりまして、市民の皆様には今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にご尽力いただいた小美玉市子ども・子育て会議委員の皆様、関係機関、団体等の皆様をはじめ、子ども・子育て支援に係るアンケート調査等で多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました皆様方に心からお礼申し上げます。

令和7年3月

小美玉市長 島田 幸三